

# モニタリング検証報告書

熊本トヨタホールディングス株式会社 御中

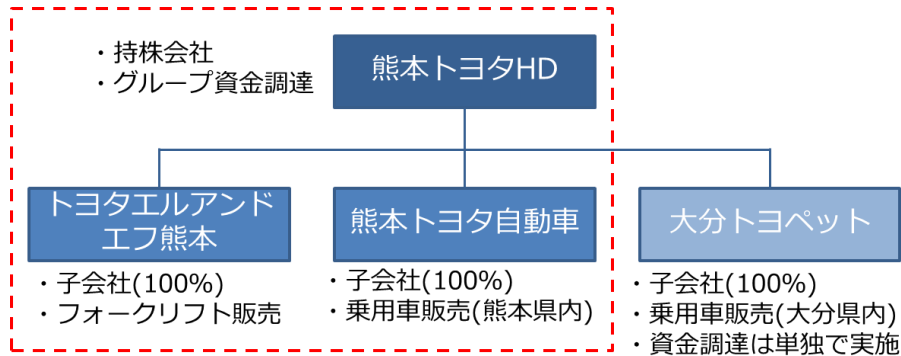
公益財団法人 地方経済総合研究所

## 1. 検証の対象および目的

本検証において、熊本トヨタホールディングス株式会社（以下、熊本トヨタ HD）は持株会社であることから、事業主体である熊本トヨタ自動車株式会社（以下、熊本トヨタ自動車）およびトヨタエルアンドエフ熊本株式会社（以下、トヨタ L&F 熊本）を対象とする。検証期間は、熊本トヨタ自動車が2022年4月1日～2023年3月31日、トヨタ L&F 熊本が2022年4月1日～2023年3月31日である。

また、本検証は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則った上で2022年5月31日に発行した、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げる KPI の進捗を確認することを目的としている。

### 【熊本トヨタ HD 関連図】



## 2. 検証の方法

評価書に掲げた KPI について、担当者へヒアリングを実施し、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜疎明資料を受入れることで確認している。

## 3. 検証期間における特記事項

次ページ、「取組事項」以外の主な SDGs 活動	○SDGs の推進に向けた人材育成 ○「阿蘇水掛の棚田」での田植え活動への参加
--------------------------	--

#### 4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

##### 【熊本トヨタ自動車】

重要課題	取組事項	KPI	目標値	実績	評価
豊かなモビリティ社会づくり	サポートカーの販売推進	安全装置付新車販売割合	100%	100%	A
	ライフプランにあった提案	割賦販売比率 (非公表)	-	-	-
持続可能な社会づくり	各種ボランティア活動 (YMCA 等)	ボランティア活動への参加者 (年間延べ人数)	100 人/年	102 人	A
	HV 基金の寄付	各種寄付額	1,000 万円/年	1,300 万円	S
	子どもの貧困支援	- (KPI なし)	-	年 4 回	-
環境に優しい地域づくり	環境に優しい車の販売	・低公害新車販売率 ・サービスカーの低公害比率	いずれも 100%	・56.7% ・52.1%	B
	カーシェアリング普及	シェアリングカー台数	10 台	5 台	B
	油水分離槽設置	全拠点設置	100%	100%	A
	フロンガス回収	再利用率	100%	100%	A
	環境保全活動	CO2 排出量	前年比削減	計測できず	C
持続可能な社会の実現に 貢献する人づくり	女性活躍推進	産休育休の取得率・ 復帰率	100%	100%	A
	サービス技術提供	研修会・勉強会開催	70 回/年	75 回	A
	健康経営の取組み	健康経営優良法人	2020 年認定	認定取得	A
	多様な働き方の推進	くるみん認定	2025 年認定	始動	A
	外国人採用	採用人数	1 名/年	1 名	A
	キッズエンジニア教室の 開催	開催数、認定証発行 件数	2 回/年 100 件	10 回 100 件超	S

##### 【評価基準】

S：目標を大きく上回る A：当初の期待通り B：目標を下回る C：目標を大きく下回る

【トヨタ L&F 熊本】

重要課題	取組事項	KPI	目標値	実績	評価
最適な物流システムの提供	社会課題解決を起点としたビジネスの拡大	物流システムの売上	120% (2020 年比)	164.1%	S
	安全講習の提供	提供企業数	10 社	18 社	S
持続可能な社会づくり	各種ボランティア活動	ボランティア活動への参加者 (年間延べ人数)	年間 80 人	94 人	A
環境に優しい地域づくり	環境配慮型製品の販売	フォークリフト販売内 電動車比率	48% (2025 年度)	47.1%	A
	油水分離槽設置	全拠点設置	100%	100%	A
	環境保全活動	CO2 排出量	前年比削減	95.9%	A
持続可能な社会の実現に貢献する人づくり	女性活躍推進	産休育休の取得率・ 復帰率	100%	対象なし	-
	健康経営の取組み	健康経営優良法人	継続	継続	A
	地元学生の採用活動	採用人数	5 名 (単年)	4 名	A

【評価基準】

S : 目標を大きく上回る A : 当初の期待通り B : 目標を下回る C : 目標を大きく下回る

以上